

令和2年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、今年度の表彰式は中止となりました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏名	略歴 (期間)	主な功績
<p>おおば 文恵 大場 文恵</p>	<p>宇都宮市教育委員会委員 (H19.10.1～R1.9.30)</p>	<p>教育委員として12年間務め、委員長在任中には、教育委員会制度改革に取り組み、円滑な運営に貢献した。また、いじめ防止基本方針を策定し、いじめゼロ運動の推進と併せて、いじめ防止に係る取組の一層の充実に尽力した。児童生徒と向き合う時間の充実に向けた取組方針及び具体的方策を打ち出し、教職員の働き方改革の推進に力を入れて取り組んだ。</p>
<p>だいこうじ 敏夫 大宮司 敏夫</p>	<p>那須塩原市教育委員会教育長 (H24.4.1～R2.3.23)</p>	<p>教育長として、7年11か月にわたり、市の教育振興、充実、発展のため献身的に尽力した。ALTの全校常駐配置や9年間の学びを実現する小中一貫教育、さらには、ICT教育機器の整備・充実など数々の先進的な取組を推進した。</p> <p>また、少子化が進む中、小中学校の適正配置による統廃合を実現するとともに、県内初の義務教育学校の開校にも尽力した。</p>